



池田名誉会長

光の言葉  
幸福の曲

# 心に「希望の春」 もつ人は強い

冬空へと伸びるビル。左手に神戸港、中央には、神戸ポートタワーの赤が映える。阪神・淡路大震災から5年後の2000年（平成12年）2月、池田名誉会長は兵庫池田文化会館から神戸の街並みを撮った。そこに暮らす人々に幸あれ

と祈りつつ――。

75回目の兵庫訪問だった。兵庫総会、関西創価学園生との記念撮影に出席。29日には、被害の最も大きかった地域の一つ・長田区へ。

「人生は戦いです。幸福になるための戦いです」「どうか朗らか

に！そして忍耐をもって生き抜いていただきたい」――長田文化会館での励ましに、全兵庫、全関西の友が「心の復興」を誓った。

震災から20年。神戸は不死鳥のごとくよみがえった。心に希望のある限り、春はやってくる。

人生を、生きて生きて  
生き抜くことである。  
そのために、  
絶対に「負けない」ことである。  
自分も、一家も、組織も、  
何ものにも負けず、  
何ものをも乗り越え、  
前へ前へと進んでいく。

その姿自体が勝利である。  
仏法の透徹した眼から見れば、  
打ち続く苦難にも  
一つ一つ深い意味がある。  
大変な時にこそ、  
無量の「心の財」を  
積むことができる。



「希望に生きよ！」「負けない青春を！」——深い慈愛を込めて関西創価学園生に語り掛ける、創立者の池田名誉会長。明るい青春の笑顔が広がる（2000年2月28日）

「蔵の財」も  
「身の財」も大事である。  
しかし、最後の最後まで勝ち切る力、  
そして、人生の総仕上げを飾り、  
未来永遠に  
常樂我淨の生命の旅を  
続けゆく力は、  
「心の財」しかない。  
すなわち、信心強き人こそ、  
最も富める「心の長者」なのだ。

希望そのものが  
「生命の春」である。  
心に「希望の春」をもつ人は  
幸福である。

希望という「心の財」は、  
無限に価値を生む。  
最高の財産である。

最後に勝てば、  
「勝利の人生」である。  
途中、どんなに悩み  
苦しいことがあると、  
最後の勝利を目指し、  
歩み抜き、生き抜き、  
今世を戦い抜くのだ。  
自分一人ではない。  
胸奥に生き続けている  
近しい方々の分も  
断じて勝つのだ！  
我らに絶望は断じてない。  
日蓮仏法の信仰は  
永遠の希望の光源であるからだ。